

## 作物統計調査

### 令和3年産日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量

— 日本なしの収穫量は前年産に比べ8%増加、ぶどうは同1%増加 —

#### 【調査結果の概要】

#### 1 日本なし

結果樹面積<sup>(注)</sup>は1万300haで、前年産に比べ400ha(4%)減少した。

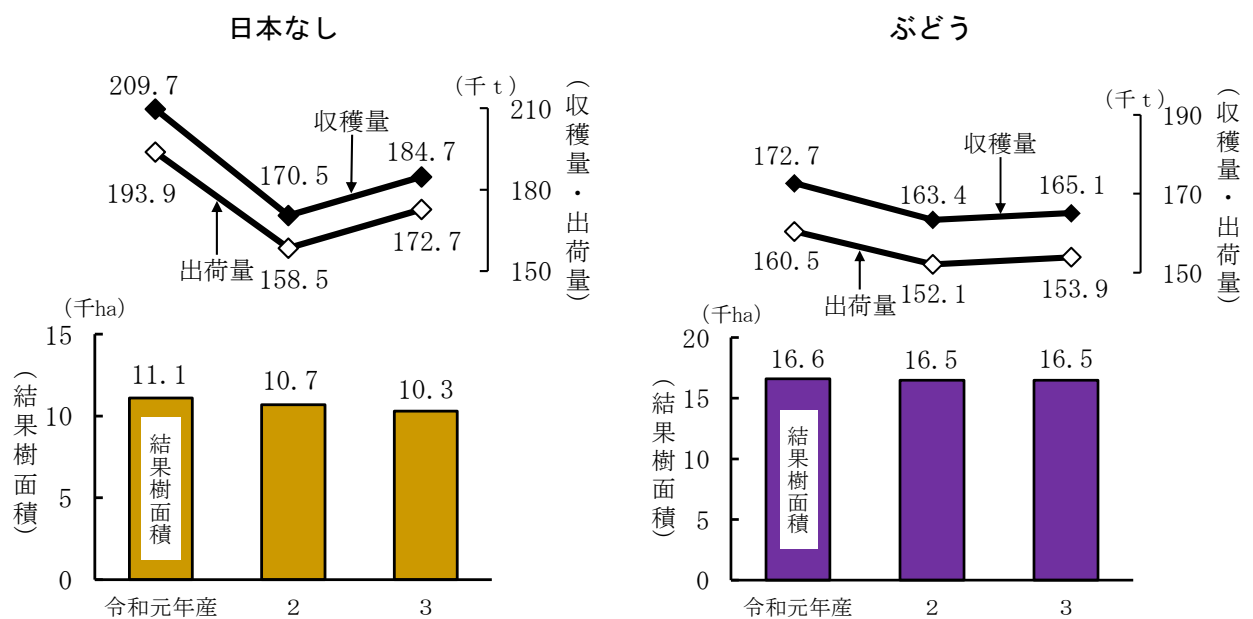
収穫量は18万4,700t、出荷量は17万2,700tで、前年産に比べそれぞれ1万4,200t(8%)、1万4,200t(9%)増加した。

#### 2 ぶどう

結果樹面積は1万6,500haで、前年産並みとなった。

収穫量は16万5,100t、出荷量は15万3,900tで、前年産に比べそれぞれ1,700t(1%)、1,800t(1%)増加した。

図1 日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量(全国)



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kazyu/index.html#y7](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y7) 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成状況の検証のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

1 日本なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

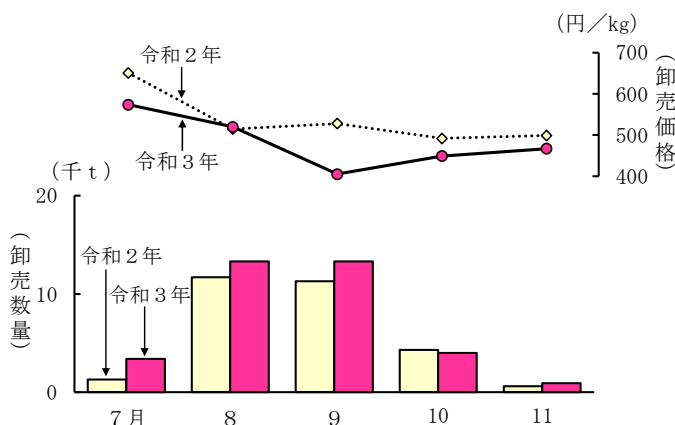
2 ぶどうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

年産	1 日本なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）				2 ぶどうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）			
	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成 24 年産	13,300	2,070	275,400	252,800	17,600	1,130	198,300	182,100
25	13,000	2,060	267,200	246,400	17,400	1,090	189,700	173,600
26	12,800	2,110	270,700	249,700	17,300	1,090	189,200	173,400
27	12,400	1,990	247,300	227,700	17,100	1,060	180,500	165,200
28	12,100	2,040	247,100	227,600	17,000	1,050	179,200	163,800
29	11,700	2,100	245,400	226,600	16,900	1,040	176,100	161,900
30	11,400	2,030	231,800	214,300	16,700	1,050	174,700	161,500
令和 元	11,100	1,890	209,700	193,900	16,600	1,040	172,700	160,500
2	10,700	1,590	170,500	158,500	16,500	990	163,400	152,100
3（概数）	10,300	1,790	184,700	172,700	16,500	1,000	165,100	153,900

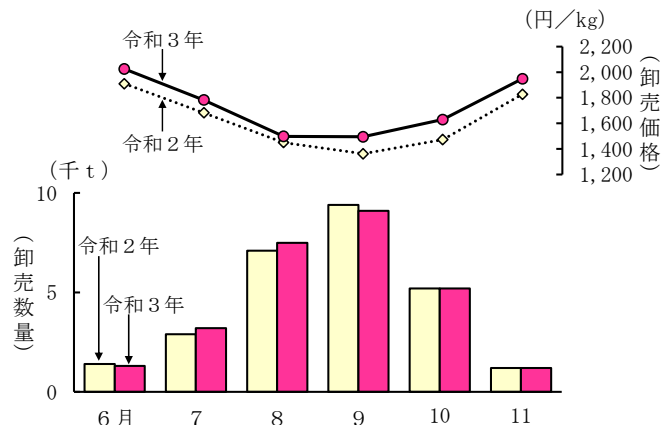
資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』

◎ 関連データ

1 日本なしの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



2 ぶどうの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」

注：日別調査は、青果物卸売市場が開設されている札幌市、仙台市、東京都、横浜市、金沢市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、高松市、北九州市、福岡市及び沖縄県に所在する主要な中央卸売市場の全ての卸売会社を対象とした調査である。

## 【調査結果】

### 1 日本なし

- (1) 結果樹面積は1万300haで、前年産に比べ400ha（4％）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

- (2) 10a当たり収量は1,790kgで、前年産を200kg（13％）上回った。

これは、茨城県、栃木県、千葉県等において、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったことから、作柄の悪かった前年産を上回ったこと等による。

- (3) 収穫量は18万4,700t、出荷量は17万2,700tで、前年産に比べそれぞれ1万4,200t（8％）、1万4,200t（9％）増加した。

- (4) 都道府県別の収穫量割合は、千葉県が11％、茨城県が10％、栃木県が9％、長野県及び福島県が6％となっており、この5県で全国の約4割を占めている。

図2 日本なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

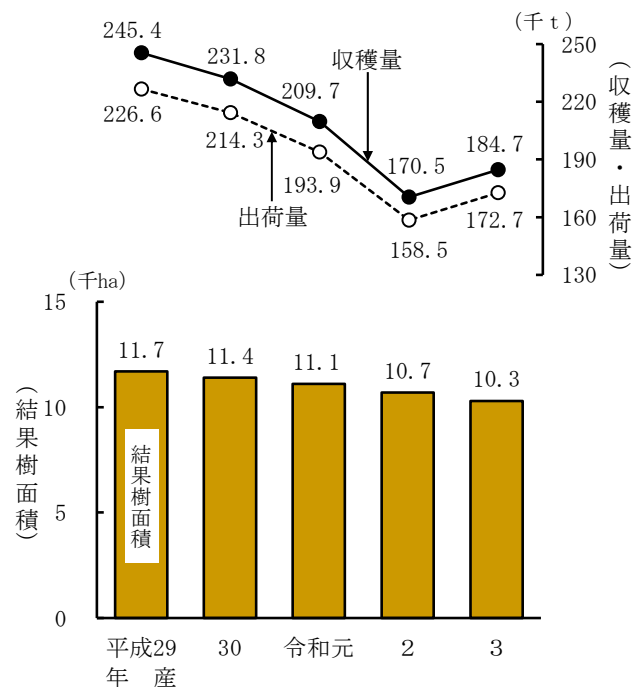
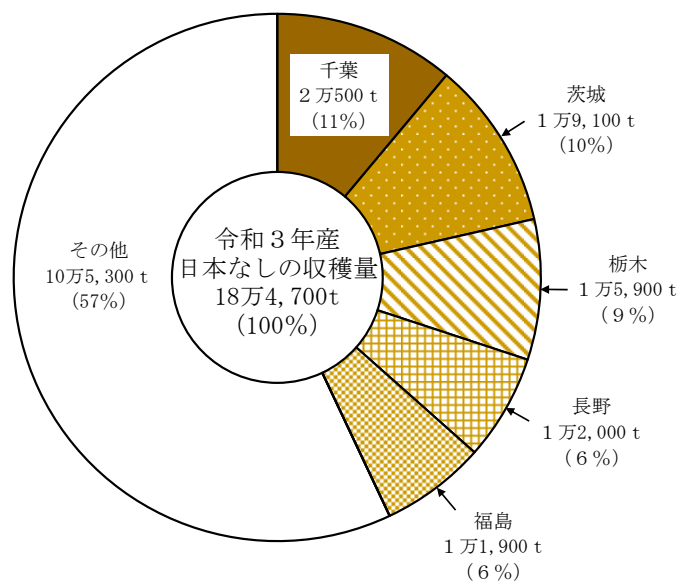


図3 日本なしの都道府県別収穫量



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下、図5において同じ。）。

表1 令和3年産日本なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
日本なし	10,300	1,790	184,700	172,700	96	113	108	109

## 2 ぶどう

- (1) 結果樹面積は1万6,500haで、前年産並みとなった。
- (2) 10a当たり収量は1,000kgで、前年産を10kg（1%）上回った。
- (3) 収穫量は16万5,100t、出荷量は15万3,900tで、前年産に比べそれぞれ1,700t（1%）、1,800t（1%）増加した。
- (4) 都道府県別の収穫量割合は、山梨県が25%、長野県が17%、岡山県及び山形県が9%、福岡県が4%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図4 ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

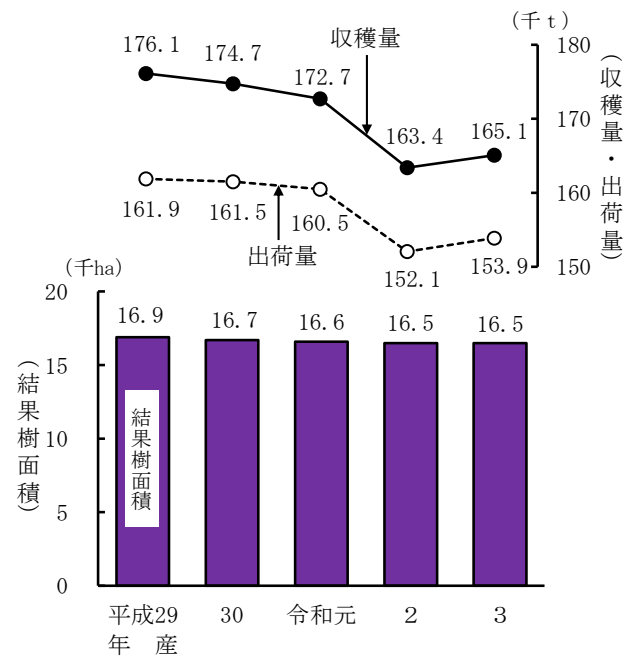


図5 ぶどうの都道府県別収穫量

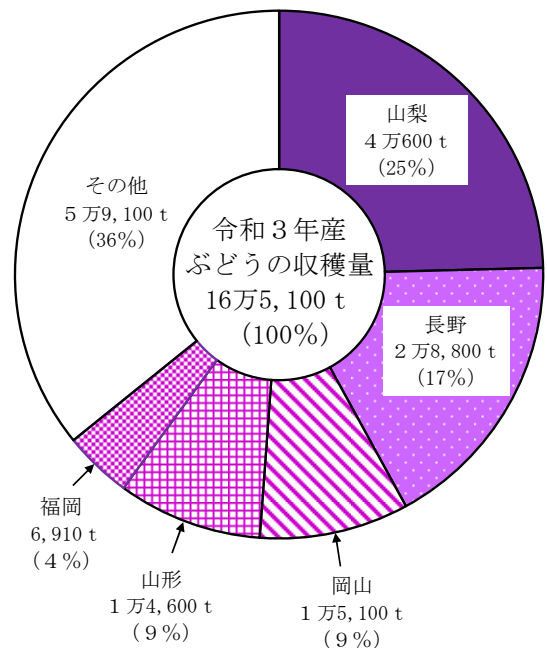


表2 令和3年産ぶどうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
ぶどう	16,500	1,000	165,100	153,900	100	101	101	101

【統計表】

1 令和3年産日本なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	10,300	1,790	184,700	172,700	96	113	108	109
うち 宮 城	136	1,120	1,520	1,360	99	64	63	64
秋 田	162	1,030	1,670	1,520	98	76	75	75
山 形	110	1,100	1,210	1,000	96	82	79	78
福 島	789	1,510	11,900	11,000	96	96	92	92
茨 城	894	2,140	19,100	17,700	97	147	141	144
栃 木	730	2,180	15,900	14,900	99	142	141	141
群 馬	202	2,000	4,040	3,900	99	108	107	106
埼 玉	322	2,010	6,470	6,050	98	107	104	104
千 葉	1,290	1,590	20,500	20,200	95	119	113	112
東 京	80	2,030	1,620	1,590	93	112	104	105
神 奈 川	211	1,840	3,880	3,800	97	114	110	111
新 潟	376	1,600	6,020	5,540	96	90	87	87
富 山	160	1,500	2,400	2,330	99	82	81	81
石 川	133	1,600	2,130	2,020	100	116	116	118
福 井	65	1,330	865	809	98	115	113	114
長 野	648	1,850	12,000	11,500	94	93	88	89
岐 阜	117	1,540	1,800	1,650	100	96	96	96
愛 知	304	1,580	4,800	4,510	97	105	101	103
滋 賀	46	1,120	515	470	100	101	101	101
京 都	64	1,660	1,060	1,000	93	133	123	127
兵 庫	62	1,470	911	851	100	103	103	103
鳥 取	599	1,850	11,100	10,200	92	115	106	106
広 島	136	1,230	1,670	1,500	100	74	74	74
山 口	162	1,670	2,710	2,460	98	127	124	124
徳 島	200	2,180	4,360	4,080	99	109	107	107
香 川	32	1,240	397	362	89	130	115	115
福 岡	339	2,210	7,490	7,140	94	132	124	124
佐 賀	172	2,270	3,900	3,660	96	128	122	124
熊 本	450	1,760	7,920	7,290	98	116	113	113
大 分	328	2,370	7,770	7,160	97	117	114	115

注： 本年産は、令和2年（全国調査年）の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県（主産県）を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の調査結果を基に推計した（以下同じ。）。

## 2 令和3年産ぶどうの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	16,500	1,000	165,100	153,900	100	101	101	101
うち 北海道	1,070	628	6,720	6,580	103	94	97	99
青 森	410	1,100	4,510	3,760	98	96	94	96
岩 手	349	948	3,310	3,070	99	96	95	96
秋 田	178	840	1,500	1,360	97	74	71	71
山 形	1,460	1,000	14,600	13,200	99	95	94	94
福 島	271	941	2,550	2,300	102	103	105	105
埼 玉	156	838	1,310	1,210	94	124	117	113
新 潟	241	772	1,860	1,620	98	102	100	100
石 川	151	634	957	905	97	103	100	101
山 梨	3,790	1,070	40,600	38,800	100	116	116	116
長 野	2,380	1,210	28,800	27,100	104	86	89	89
愛 知	416	830	3,450	3,180	96	99	96	94
滋 賀	52	817	425	391	100	95	95	95
大 阪	396	982	3,890	3,710	99	100	99	99
兵 庫	253	826	2,090	2,040	100	106	106	106
鳥 取	58	857	497	458	95	103	98	98
島 根	225	917	2,060	1,980	99	96	94	95
岡 山	1,150	1,310	15,100	13,700	101	107	109	108
広 島	269	1,090	2,930	2,640	96	104	100	100
香 川	155	850	1,320	1,160	95	101	96	96
愛 媛	151	728	1,100	1,020	101	104	106	105
福 岡	696	993	6,910	6,460	98	111	108	108
大 分	257	851	2,190	2,010	99	101	100	102
宮 崎	136	993	1,350	1,240	100	88	88	88

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の生産に関する実態を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成状況の検証、農業保険法に基づく果樹共済事業の適切な運営等のための資料を整備することを目的としている。

### 2 調査の対象

#### (1) 調査の範囲

令和3年産については、主産県を調査の対象としている。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており（直近では令和2年産）、全国調査年以外の年にあつては、調査対象品目ごとに、直近の全国調査年における面積調査結果に基づき、全国の栽培面積（令和2年）のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

#### (2) 調査対象者の選定

##### ア 関係団体調査（全数調査）

調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

##### イ 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2020年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培し関係団体以外に出荷した農林業経営体から、品目別の栽培面積の大きさに比例した確率比例抽出法により抽出を行った。

標本の大きさ（標本経営体数）については、全国の目標精度（2～3%）が確保されるよう、調査対象品目の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して設定した10a当たり収量に関する目標精度（5～20%）及び団体シェアの割合等に基づき、必要な標本経営体数を算出した。

#### (3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効回答数 ②	有効回答率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回答数 ⑦	有効回答率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
日本なし	189	185	97.9	8,336	1,462	17.5	996	68.1
ぶどう	263	255	97.0	13,847	1,213	8.8	888	73.2

注：「有効回答数」とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回答はあつたが、当年産において栽培がなかった標本経営体等は含まれていない。

### 3 調査事項

#### (1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

#### (2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び「自家用、無償の贈与の量」

### 4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
日本なし	令和3年8月～9月
ぶどう	令和3年7月～10月

## 5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

## 6 集計方法

### (1) 都道府県値

- ア 結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。
- イ 収穫量の集計は、関係団体調査結果及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり収量に結果樹面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集により補完している。
- ウ 出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり出荷量等を基に算出している。

### (2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った令和2年産の調査結果に基づき、次により推計した。

#### ア 結果樹面積

$$\text{全国値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

(注)「栽培面積」は、農林水産省統計部が令和3年10月に公表した「令和3年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）」による。

#### イ 収穫量及び出荷量

$$\text{全国値} = \frac{\text{令和2年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{令和2年産の主産県値}}$$

## 7 実績精度

本調査結果（主産県計）の10a当たり収量を指標とした実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと、次のとおりである。

区 分	標準誤差率(%)
日本なし	0.9
ぶどう	2.2

## 8 用語の解説

- (1) 栽培面積とは、調査日現在において、複数年にわたって収穫を行うことができる永年性作物の栽培に利用している面積をいう。
- (2) 結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (3) 収穫量とは、収穫したもののうち生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (4) 出荷量とは、収穫量のうち生食用、加工用として販売した量をいい、生産者が自家消費した量及び種子用、飼料用として販売したものは含めない。

## 9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁（下から）		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123



(2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和3年産日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

## 10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和4年12月予定）するとともに、その後刊行する『令和3年産果樹生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

## 【ホームページ掲載案内】

○ 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。

【 [https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kazyu/index.html#y7](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y7) 】

## 【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/attach/pdf/index-96.pdf>

### お問合せ先

#### ◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部  
生産流通消費統計課 園芸統計班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3680  
（直通）03-6744-2044  
FAX： 03-5511-8771

#### ◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 統計広報推進班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589  
（直通）03-6744-2037  
FAX： 03-3501-9644



### 政府統計

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)  
<https://www.e-stat.go.jp/>